

2018（平成 30）年度 博物館実習の受け入れについて

日本民藝館では、本年度の博物館実習を下記の要項で実施します。

1、対象者及び受け入れ条件

- ・大学もしくは大学院に在学中であり、学芸員資格取得に必要な単位のうち博物館実習以外の単位を平成 30 年度中に取得見込みの者。
- ・実習の全期間に出席可能な者。
- ・当館の趣旨や活動に関心を持ち、当館での実習を強く希望する者。
- ・ひとつの大学からの受け入れは原則 1 名とし、特定の大学との提携枠は設けません。

2、実習場所 : 日本民藝館本館及び西館

3、実習期間と実習内容

- ・実習期間は 10 日間とし、前期実習（講義 4 日間）と後期実習（実務実習 6 日間）からなります。
- ・実習時間は、基本的には 9：30 から 17：30 まで（昼食休憩あり）となります。
- ・本年度の実習スケジュールは、以下の様に予定しております。なお、日程に変更が生じる場合があります。

① 事前ガイダンス（全員参加） 6 月 17 日（日） 14：00 から

② 前期実習（全員参加による 4 日間の講義） 6 月 21 日（木）～ 6 月 24 日（日）

③ 後期実習（3 グループに分かれ展覧会準備等の 6 日間の実務実習）

〔Aグループ〕 6 月 26 日（火）～ 7 月 1 日（日）

〔Bグループ〕 9 月 4 日（火）～ 9 月 9 日（日）

〔Cグループ〕 11 月 24 日（土）～ 12 月 26 日（水）

* 〔Cグループ〕は、実習生と相談の上で 6 日間の参加日を決定します。

4、実習費 : 10,000 円

（実習に際し、諸経費として所属大学または実習生より申し受けます。）

5、申し込み方法

下記の書類等を 4 月 1 日（日）から 4 月 30 日（月）までに、当館実習担当宛に郵送してください。

- ① 「履歴書」（市販のものでも可。写真貼り付けのこと）

- ② 「博物館実習受け入れ申込書」 (別紙)
- ③ 「作文」 (柳宗悦著『民藝四十年』を読み、その感想を 2,000 字程度にまとめてください。同書は岩波文庫に収められています。)

6、選考方法について

- ・博物館実習受け入れについては、書類審査と面接により決定いたします。
- ・面接期間は 5 月 9 日 (水) から 5 月 13 日 (日) の間です。面接時間は 20 分程度を予定しています。応募者は 4 月中に電話で面接の予約を必ず行ってください。

7、選考結果通知とその後の手続き

- ・選考結果通知は、5 月 20 日 (日) 頃までに応募者本人宛に書面で通知いたします。
- ・受け入れの内定を受けた者は所属校で所定の手続きを行い、大学から当館館長宛に正式の実習依頼文書あるいは実習申請書 (各大学の様式で可) を提出してください。

8、注意事項

- ・申込者の専攻分野によって受け入れを制限することはありませんが、専攻に関わらず、民藝やその関連分野について事前に学習しておいてください。
- ・申し込み後、取り消し等が生じた場合には、すみやかに博物館実習担当までご連絡ください。
- ・実習中の事故等については、基本的に当館では責任を負いません。事前ガイダンスの内容をふまえた上で、各自注意して実習を受けてください。
- ・応募書類の返還はいたしませんのでご了承ください。

〔申し込み・問い合わせ先〕

〒153-0041 東京都目黒区駒場 4-3-33
日本民藝館 博物館実習担当宛
電話 03-3467-4527 FAX 03-3467-4537

博物館実習受け入れ申込書

氏名 (_____)

学校名 (学年) _____ (_____)

e-mail address _____

1. 学芸員資格取得を希望する理由

2. 日本民藝館で実習を希望する理由

3. 後期実習の日程に関する希望

下記の表に、第一希望には①を、第二希望には②を付けて下さい。

() [Aグループ] 6月26日(火) ～ 7月1日(日)

() [Bグループ] 9月4日(火) ～ 9月9日(日)

() [Cグループ] 11月24日(土) ～ 12月26日(水)

() いずれのグループでも可